

事業名	確かな学力の向上を目指す教育の推進	評価実施者	所 属 職・氏名	心の教育推進室 室長 吉川 修
-----	-------------------	-------	-------------	--------------------

主要事業の概要	開始年度	根拠法令等	特定財源
	実施方法	☒ 直接 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他 ()	
	目 的	児童生徒に基礎・基本を確実に定着させ、個に応じたきめ細かな学習指導の取り組みを推進した。	
	事業内容	①少人数指導(T・T)の実践を通じて指導方法の工夫改善に取り組んだ。 ②少規模校における効果的な指導方法として、学習支援員(教諭)を配置して実践研究に取り組んだ ③標準学力検査や全国学力状況調査を実施し、学力の実態の把握と指導の向上プランの策定に取り組んだ。	

事業コスト	区 分	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	特 記 事 項
	事業費(A)	2,653	2,560	6,511	6,434	2,414	③の学習支援員 江部乙中・東栄小 各1名 ※単位:千円
	うち一般財源	2,653	2,560	6,511	6,434	2,414	
	人件費(B)	0	0	0	0	0	
	総コスト(A)+(B)	2,653	2,560	6,511	6,434	2,414	

実績と成果	区 分		単位	H17	H18	H19	H20	H21	左記以外の20年度の実績・成果 ◇全国学力テストの平均正答率が、対前年で小学校が、2ポイント、中学校で5ポイント上昇した。 (全国を100とした指数:20.4実施と21.4実施の比較) ◇学習状況調査は、家で1時間以上学習すると回答した児童生徒。
	事業の実績 (アウトプット)	1	少人数指導T・T	校	9	9	9	9	
		2	学習支援員(教諭)	校	2	2	2	2	
		3	学力検査・学力テスト	校	11	11	11	11	
	事業の成果 (アウトカム)	1	全国・学力指数 小	—	—	92	91	93	
		2	全国・学力指数 中	—	—	89	88	93	
		3	全国・学習状況調査	—	—	40	38	41	

評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察									
1 適応性 有効性		①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。									
		②事業の目的に照らして効果的な手法か。									
		複数の教員が、教科の指導方法の工夫改善に当たるとともに、学習に遅れのある子への指導も対応できた。									
2 目 標 達成度		③目標の水準は適切か。									
		④計画通りに目標を達成できたか。									
		文部科学省の定数配置制度をフルに活用し、9校に配置。									
3 経済性		⑤コストは縮減しているか。									
		国費を最大限活用し、小規模校には市費の教諭を配置した。									

総合評価	合計	21	ランク (A～E)	上記評価を 踏まえた事 業の課題	少人数指導(T・T)の実践を通して、確かな学力の定着のため検証、評価、改善を重ねることが必要である。
	100点 換算	84	B		
		/25			
☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☒ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持					

[評価点数]

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

[総合評価ランク]

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている

B : 71～85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている

C : 56～70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある

D : 41～55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である

E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判 定										点検・評価に関するコメント	
1 適応性 有効性		①	☐	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐		
		②	☐	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐		
		③	☐	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐		
2 目 標 達成度		④	☐	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐		
		⑤	☐	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐		
3 経済性		⑥	☐	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐		
合計		0	100点 換算	0	ランク	E							
		/25		/100									